



## 園 だ よ り

2020年4月30日

【みことば】 ルカによる福音書1章

天使はマリアのところに来て言った。「おめでとう、恵まれた方。主があなたと共に  
おられる。」

5月はマリア様の月です。マリア様はイエスのお母さんとして、いつもそばにいて  
守っておられました。子どもたちがお母さんに感謝するように祈ります。

(理事長 瀧野正三郎神父)

【園長より】

皆様、お元気でお過ごしですか？朝のお祈りを毎日大切にしてくださっていることを  
お聞きして、私自身も心が折れそうな時、このことを支えにして、どんな時でも、  
どんなに長い日々でも、このことは続けていこう、頑張ろうと思っています。

毎朝、神さまに心を向けると不思議に力が湧いてきて、そして子どもたちや皆様の  
ことを想像しています。2ヶ月もの間、子どもと毎日を共に過ごすと、色々なことが  
見えてきて嬉しいこともあります。心配になったり、子どもの心をくみ取る余裕が  
なくなったり、自分の嫌な部分が出てきたり、いつも良い親（自分）では、いられない  
こともあると思います。あるお母様から、「あと1ヶ月どうしたらいいのか・・・。  
子どももですが、私自身もです・・・。」とお電話をいただきました。この言葉はきっと  
他のお母様方と同じだろうと思います。あと1ヶ月、どうしましょう？

いつもなら、子育て講座やクラス懇談会など、お話できる機会をいただいているのですが  
今回は、はじめて、お伝えしたいことを文章でお伝えしてみます。うまく伝わるかわかり  
ませんが、今思っていることを伝えます。

玄関にあるローマ教皇のポスターに「すべての命を守るため」という言葉がありました。  
これは、昨年来日された時の、教皇のテーマです。どういうわけか、今この言葉が私の  
心を揺さぶっています。「幼稚園を休園にする？」なんてこと・・・。「すべての命を  
守るため」そうだな・・・。「お店がお休み？みんな困るな・・・」でも「すべての命を  
守るため」かな？「学校休みでも、塾や習い事が空いてるの？でも休みになった・・・」  
やっぱり・・・。「すべての命を守るため」ですよね。「いつも、お母さんたち、お仕事、  
子育て、家事、色々頑張っておられるな。園の役割はお家にいるお母さんも、お仕事を  
しているお母さんも応援すること。」でも「家庭保育の協力をお願いします。できたら、  
在宅で、時短でお仕事してください。」なんて言うことに。「すべての命を守るため」  
なのです。つまり、色々なことが出来なくなり、不可能になり、今たどり着いたのが  
「命」よりも大切なものがなかったということです。今、私たちの生きる価値観が問わ

れているのです。

子どもといてつらい時、大声で叫びそうになった時、少し黙って、できたら深呼吸。できたら外に出て、空を見る。子どもが大声でかんしゃくをおこしていたら、まず、こちらが静かにする。そして、子どもが落ち着くまで待つ。あまり、いろいろ話したり、条件を出したりしない。たとえば「泣き止んだら、〇〇をしてあげる・・・」とか。静かに待つ。泣きたい子どもの気持ちに寄り添う。幼稚園でも新学期、「ママー！ママがいい！」と泣き叫ぶことが多々あります。そんな時、先生たちは、静かに近づいて身体をさすって「そうだね。ママにあいたいよね。ママすきだよねー。」と子どものところに寄り添います。そして、時間をかけて、子どもの落ち着くのを待ちます。子どもの心は、大人の思い通りにはなりません。もし、思い通りに育てている人がいたら、逆に心配になります。子どもが思いを出せること、意思をもっていることを喜びましょう！

子どもの悪いところばかり気になっている時は、子どもを静かに観察してみましょう。観察とは、監視ではありません。子どもに気付かれなくなりにげなく観ることです。いつものんびりしている子。ついつい、こちらもいらいらしてしまいますね。でも、観察してみてください。のんびりだけど、マイペースだけど、きちんと洋服をたんでいたり、自分のやり方をこだわりをもってやっていたりしていませんか？この子は、きっと、色んな事があっても、ぶれずに自分のペースで歩む強さがあります。一見乱暴で雑に見える子ども。よく観察すると、色んな事に気が付いて、そのことをやらないと・・・とまっしぐらに進んでいます。でも、急いでいるだけで、優しさがないわけではないのです。そのパワーを人のために使えたら、たのもしい人になります。頑固で人の言うことをすぐには聞けない子ども。よく観察すると、意思の強さ、どんなことも、冷静にみる力があります。この力を人のために使えと、人から信頼される人になると思います。今、目の前に見えている姿だけで、一喜一憂せず、その子どもの持っているもの、本質的なものに、気付き伸ばしてあげられる大人になりたいですね。お母様たちなら、きっと出来ると思います。いつもなら、子育ての悩みを分かち合って、親として成長してこられたお母様方。新しいお母様も一緒に、この苦しい期間を共に分かち合い、支え合って、いつもの聖母のお母様たちのように過ごしませんか？今、思っていること、苦しいこと、気付いたこと・・・お手紙やFAX、メールで分かち合っただけませんか？私がまた、まとめて、発信させていただきます。私たちも、繋がりませんか？先日のホームページに、番号や、アドレスを載せていますので、ご覧ください。メールの方は、wordで送っていただくとありがたいです。お手紙でも嬉しいです。新しいお母様たちのために、在園、卒園のお母様、お願いしますね！では、また。「すべての命を守るため」に頑張りましょうね！皆様のことを思い祈りつつ。